

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち(市街地整備)											
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象		豊川市				
計画の目標												
本市の市街地は、古くから豊川稲荷の門前町として栄えてきた豊川地区や旧東海道の御油宿や赤坂宿など、旧市街地が多く、都市基盤や防災施設などの整備の遅れや中心市街地の活力の低下など、早急に取り組むべき課題がある。 本市の将来像である「豊かな自然と歴史を守りながら、地域と行政が連携・協働し、すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち」を目指すためには、こうした課題に対応する都市基盤整備事業、防災施設整備事業等の実施が必要不可欠である。 また、公園施設のバリアフリー化等の機能向上を計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。 そこで、本計画では、必要な市街地整備事業等の基盤整備を実施し、「元気の出るまち」、「住みたくなるまち」豊川市を、市民と協働で目指すものである。												
計画の成果目標（定量的指標）												
・まちづくり（社会資本整備等）に係る市民満足度を－1. 1ポイントから＋5. 9ポイントに増加 ・地区内の鉄道主要駅における乗降客数を4,119,665から4,201,089に増加 ・平成26年度までに7箇所の公園施設のバリアフリー化を行い、バリアフリー化を行った公園の割合を7.5%から14.0%に増加		定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値			備考				
					当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
		市民意識調査の内、まちづくり（社会資本整備等）に係る市民満足度の合計を集計する。			－1.1ポイント	＋3.1ポイント	＋5.9ポイント					
		鉄道主要駅における乗降客数を集計する。			4,119,665	4,177,662	4,201,089					
		バリアフリー化を行った公園の割合を集計する。			7.5%	8.4%	14.0%					
全体事業費	合計 (A＋B＋C)	3,095 百万円	A	3,036 百万円 (内提案事業326百万円)	B	0 百万円	C	59 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)＋C)/(A＋B＋C)	12.44%		
事 後 評 価												
○事後評価の実施体制、実施時期												
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期							
・関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。					公表の方法							
					・都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。							
1. 交付対象事業の進捗状況												
交付対象事業												
A1 基幹事業												
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）	全体事業費 (百万円)	備考	
	種別	種別	対象	間接		(事業箇所)	(延長・面積等)		H22 H23 H24 H25 H26			
1-A-2	都市再生整備計画	一般	豊川市	直・間	豊川市	一宮地区	道路、公園、地域創造支援事業等	豊川市			150	
1-A-3	都市再生整備計画	一般	豊川市	直接	豊川市	小坂井地区	道路、公園、地域創造支援事業等	豊川市			114	
1-A-4	都市再生整備計画	一般	豊川市	直・間	豊川市	豊川音羽歴史地区	公園、土地区画整理事業等	豊川市			1,267	
1-A-5	都再区画	一般	豊川市	間接	豊川市	一宮大木地区	土地区画整理事業	豊川市			149	
1-A-6	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	都市公園事業（御油松並木公園）	A=2.3ha	豊川市			435	
1-A-7	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	公園長寿命化計画策定事業(豊川市)	9.2箇所	豊川市			18	
1-A-8	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(豊川市)	公園整備（平成25年度まで） 曙公園等5箇所におけるトイレ等のバリアフリー化（平成26年度）	豊川市			761	公園施設の改築については、平成25年度までバリアフリー化事業費：28百万円（平成26年度）
1-A-9	水循環再生	一般	豊川市	直接	豊川市	水環境創造事業（水循環再生型）	浸透トンチ L=3660m	豊川市			142	新世代
合計										3,036		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-3	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市	安全安心まちづくり事業	雨水浸透施設等整備	豊川市						35	
1-C-4	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市	公園施設長寿命化対策支援事業	公園整備：遊具の更新	豊川市						15	
1-C-5	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市	都市公園出入口安全対策事業	公園出入口見通改善	豊川市						9	
合計													59		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-3	都市再生整備計画事業(1-A-2, 3, 4) による必要な都市基盤整備に合わせ、防災防犯等施設整備を実施し、安全安心なまちづくりを推進する。														
1-C-4	都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(1-A-8) による公園整備に合わせ、公園利用者が安心して公園施設を利用することができるよう遊具の更新を行い、安全安心なまちづくりを推進する。														
1-C-5	都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(1-A-8) による公園整備に合わせ、公園利用者が安心して公園施設を利用することができるよう出入口の見通し改善を実施し、安全安心なまちづくりを推進する。														

その他関連する事業															
計画の名称		光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち（防災・安全）													
事業種別			交付対象		要素となる事業名 (事業箇所)		市町村名							全体事業費 (百万円)	備考
1-A'-1	都市防災		豊川市		都市防災総合推進事業(豊川防災地区外4地区)		豊川市							315	防災・安全移行先
1-C'-1	施設整備		豊川市		市民病院整備事業		豊川市							300	防災・安全移行先

A'	315百万円	B'	0百万円	C'	300百万円	$((A(提案分)+A')+(C+C'))/((A+A')+(B+B')+(C+C'))$	18.46%
----	--------	----	------	----	--------	---	--------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・都市再生整備計画事業や都市再生土地区画整理事業により、市街地整備が進み、市民満足度の向上につながった。 ・都市公園整備や公園施設の長寿命化、バリアフリー化により、公園施設が充実し、市民満足度の向上につながった。 ・雨水浸透トレンチの整備により、流出抑制対策が実施され、市民満足度の向上につながった。 ・都市再生整備計画事業により、定住と交流が促進され、鉄道駅の乗降客数の増加につながった。 ・都市公園施設のバリアフリー化により、バリアフリー化された公園が増加した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（まちづくり（社会資本等に係る市民満足度）	最終目標値	+5.9ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	・土地区画整理事業、公園施設の長寿命化やバリアフリー化、雨水浸透施設整備などの基盤整備により市民満足度が向上したものの目標値には及ばなかった。
		最終実績値	+2.4ポイント		
	指標②（鉄道主要駅における乗降客数）	最終目標値	4,201,089	目標値と実績値に差が出た要因	・都市再生整備計画事業による土地区画整理事業などの基盤整備に実施により、コンパクトシティの形成が推進され、鉄道駅の乗降客数が増加となり、計画目標である「元気がでるまち」「住みたくなるまち」が推進された。
		最終実績値	4,344,855		
	指標③（バリアフリー化を行った公園の割合）	最終目標値	14.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	14.0%		
Ⅱ-2 その他の数値指標 （設定した定量的指標以外の指標）による効果発現状況	その他指標① （駅周辺での住宅戸数の増加）	従前値	-	効果発現要因	・計画目標である「住みたくなるまち」について、駅周辺で実施される土地区画整理事業の進展により住宅戸数が増加しており、人口定着が進んでいる。
		実績値	405 戸 （平成22年度～平成26年度計）		
	その他指標② （市人口の増加）	従前値	180,003 人 （平成21年度末）	効果発現要因	・計画目標である「住みたくなるまち」について、全国的に人口減少が進む中、市街地の基盤整備の実施により人口が増加しており、人口定着が進んでいる。
		実績値	180,087 人 （平成26年度末）		
		従前値		効果発現要因	
		実績値			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・今後も人口定着や交流人口の増加を推進するため、土地区画整理事業などの各種基盤整備を実施する。 ・都市公園における長寿命化対策及びバリアフリー化を推進し、市民が安全で快適に過ごせる都市公園を構築する。 ・今後も雨水浸透施設整備を進めることで、雨水の流出を抑制し、浸水被害の減少に努める。 ・今後も都市再生整備計画などを活用し、コンパクトシティを推進する。					

(参考図面) 市街地整備

